

【12月の保育】

年少うさぎ組

登園時は少し肌寒くとも、園庭に陽がさすと暖かさを感じて、外で元気に遊んでいます。「ファイト！」と言しながらマラソンをしたり先生や友達と鬼遊びをしたりして、体を動かす楽しさを感じています。

室内では近くにいる友達が身に付けているものや、持っているものに关心を示し、自分も同じようなものつくって一緒に遊びたいな！という思いが感じられます。

今月は、一人1個の手回しコマで遊びます。回し方のコツをつかみ、「やってみたら楽しかった！」「もっとやってみよう」という気持ちをたくさん味わえるようにしていきます。また冬の飾り作りでは、絵の具や糊などを使い、「自分でできた」という嬉しさを感じられるようにしていきます。

年末に向けて、今まで使った遊具や自分のロッカーなどを自分たちで掃除して、新しい年を迎える準備をしていきます。

年長ぞう組

6日（土）の下高劇場に向けて、物語を考えたり、役になって動く中で自分らしい表現をやってみたりして劇ごっこを楽しんでいます。友達と力を合わせて衣装や大道具をつくり、友達のアイディアを受けて自分の考えや思いを伝え合ったりして、下高劇場という一つの大きな目的に向かって力を発揮していきます。“自分たちで劇をつくる”充実感を味わえるようにし、一人一人の自信と学級としてのつながりを深めます。

投げゴマや竹馬など少し難しいと感じることにも繰り返し挑戦し、できるようになる嬉しさや達成感を味わえるようにしていきます。また冬の飾りつくりでは、自分なりに工夫することやできあがりまでの見通しをもって進めていく経験も大切にしています。

寒さに負けず、戸外でドッジボールや鬼ごっこをして遊び、自分たちでルールをつくったり変えたりしながら、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

年中くま組

園庭では、鬼ごっこやしっぽ取り、長縄など体を動かす遊びを楽しんでいます。「初めてしっぽが取れた！」「縄を10回跳べるようになったよ！」「やってみたら楽しかった！」と言葉が聞こえてきます。“できた”“楽しかった”という思いが、また次への意欲につながっています。

今月は、糸引きゴマや短縄にも挑戦し、やってみようとする気持ちや頑張ろうとする気持ちを支えていきます。

6日（土）には下高劇場があります。みんなが知っている絵本の世界の中で、なりきって動いたり、簡単な言葉でのやり取りをしたりして楽しんでいます。遊びの中での子どもたちの表現（歌や言葉、楽しんできたことなど）を劇の中に取り入れ、自分なりになりきって動くことや、くま組のみんなで一緒に劇をすることを楽しめるようにしていきます。

